

ブレーキチャンバー

重要

この度は、ブレーキチャンバーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 以下の内容につきましては、交換作業着手前に必ずご確認頂きたく、宜しく願いいたします。

交換作業時のご注意

図1) ブレーキチャンバー本体



【作業開始前】 図1) 参照

- チャンバーを落としたり等の、衝撃が加わりますと、ガイドヘッドが抜ける場合がありますので、ご注意下さい。
- チューブは持たないで下さい。
 チューブの曲がり、は、ブレーキの効き不良や、水の侵入の原因になり早期故障に繋がります。

【取り付け】

- スプリングセットボルトは車両装着後に解除、又は取り外しが必要です。

(解除、取り外し方法はメーカー毎に異なりますので、詳細は修理書等でご確認下さい。)

- エア配管の清掃及びサビの除去を行って下さい。
 配管内のゴミやサビ内部部品に付着し、ブレーキの効き不良や引きずりを起こす可能性があります。

【動作確認時の音】

サイドブレーキを引いた状態でフットブレーキを踏んだ時、「パチン」と音がする場合があります。
→音はフットブレーキ、サイドブレーキの2重ブレーキを防止する構造の為、発生する場合がありますが、異常ではありません。 (アンチコンパウンド機能)

【エキスパンダーの状態】 図2) 参照

- チャンバー取り付けの際は、エキスパンダーの状態が①ロッドがまっすぐ、②チャンバー側とセンターが合っていることを確認して下さい。
→ロッドが曲がった状態やセンターがズレた状態で接続されると、チャンバー内部が破損する場合があります。

【コア返却時】 図3) 参照

- チェックバルブ付きの製品については、コアと一緒に返却して下さい。

【クレビスタイプ】 図4) 参照

- 車両へ装着の際は、クレビスの高さ/向きを調整して下さい。

図4) クレビス



図2) エキスパンダー



図3) チェックバルブ



以上